

好きです!! にしわき わたしのふるさと

今、この時を輝いて生きる
一次世代につなぐ、心豊かな人づくり、まちづくり—
教育委員会や学校園の情報をお知らせします。

姉妹都市アメリカレントン市訪問を終えて

—平成27年度西脇市中学生親善使節団が帰国—

西脇市は、アメリカ合衆国ワシントン州レントン市と姉妹都市提携を結んでいます。毎年、中学生の親善交流を行っており、今年も14名の中学生が8月16日から8月26日までレントン市を訪問。さまざまな体験をして西脇に帰ってきました。

また、10月6日から15日にはレントン市中学生親善使節団が来西されます。市内で見かけたら、皆さんお声をかけをお願いします。

第29回派遣中学生親善使節団

- 団長 岡本 悟 (西脇小学校長)
- 随員 宇仁沙也加 (西脇市職員)
- 団員
 - 正中 有華 (西脇中)
 - 陳ヶ尾祐月 (西脇中)
 - 戸田凌太郎 (西脇中)
 - 野一色里菜 (西脇中)
 - 村井日向子 (西脇中)
 - 片岡 鈴桜 (西脇東中)
 - 飛田 恭宏 (西脇東中)
 - 在田 岳飛 (西脇南中)
 - 池田しおり (西脇南中)
 - 梶本 幸輝 (西脇南中)
 - 長谷川 諒 (西脇南中)



レントン市内の西脇通りで記念撮影

松原 与雄 (西脇南中)
石坪 遥 (黒田庄中)
藤本 そら (黒田庄中)

子どもたちの感想

▼本場の英語を聞き取ることができてよかったです。最初は緊張したけれど、家族とも仲良くなれてとても楽しかったです。

▼ホストファミリーと毎日一緒にいるうちに、本当の家族みたいに接してもらえてすごく安心しました。行ってよかったです。

▼いろいろな人との関わりで、お金では買えない経験がすることができました。また、アメリカへ行きたいです。

▼このホームステイで、英語をもっと話せるようになりたいと思います。また、自分の思いをジェスチャーや表情等を使って伝えることがたくさんあることに気付きました。



レントン市内の中学校を訪問

心のスケッチ

80

人権教育室コラム

多文化共生社会の実現を!

外国籍の子どもたちが集う交流会に参加しました。その会の中で一人の中学生の作文朗読を聞き、その内容がとても印象に残っています。

「僕は、日本で中学生になった。初めは学校に行くのしんどかった。何を言っているのか、分からない。しゃべりたいけどしゃべれない。勉強も好きではなかった。でも僕には家族がいて、父さんも母さんも働いている。それに仲間もいる。そうだ、みんな僕を支えてくれてる。笑顔と勇気が生まれてきた。夢に向かって自分らしく生きていく。将来、弁護士になりたい。だから高校にも行きたい。勉強頑張りたい。ここが僕の住むまちなんだ」

朗読が終わると、ひととき大きな拍手がわき起こりました。まだまだ日本語を話すことに慣れておられないのか、決して流ちょうではありませんでした。でも、私も含め、多くの聴衆の心をつかむものでした。

言葉が理解できなかったり、文化の違いに違和感を感じたりしながら、暮らしている子どもたちの思いを目の当たりにしました。と同時に、夢を叶えようとする気持ちは国籍は違ってもみな同じなんだと強く感じました。

市内には日本語教室があり、中国・フィリピン・アメリカなどさまざまな国籍の方々が通っています。日本語を学んだり、日本で生活する上での疑問や悩みなど思いを打ち明けたりするとても有意義な時間となっているようです。

この教室の中で、イギリス出身のある男性が「日本で暮らすようになったとき、日本語が分からず、銀行や携帯ショップで手続きをするとき、とても困りました。英語で対応してもらえなかったらいいのに」と語られたのを思い出しました。

お互いの国の文化や習慣の違いを認め合い、それぞれの国の言語や言葉についてサポートできる社会であってほしいと思います。

(人権教育室)

あぐいこうむ 86

「自然の恵みを人から人へ」

市では「西脇ファーマーズブランド」を通じて、市内産農産物の魅力向上、自然にやさしい安全、安心な農産物の生産拡大を進めています。



西脇市農業祭を開催

■とき 11月14日(土)、15日(日)

■ところ 総合市民センター
西脇市農業祭は、本市の農畜産物や特産品を広くPRすることを目的として開催しています。今回も産業フェスタと同時開催し、ご来場の皆さまにより楽しんでいただけるイベントになっています。農業祭の内容は、西脇市の

特産で、約7割が神戸ビーフとなる「黒田庄和牛」や「市内産の山田錦を使用した日本酒」をご賞味いただけるほか、市内農家が丹精込めて育て上げた特産品「日本のへそゴマ(念こま)」、野菜、玄米などの農産物品評会の開催、市内産食材にこだわった加工品の試食販売など、お子さまからご高齢の方まで楽しめる催し

野菜品評会出品方法

▼とき 11月14日(土)午前8時~9時30分▼ところ 総合市民センターお祭り広場▼その他 1人3点まで▼申込み・問合せ 農林振興課/藤原、西村まで(市役所内線323)

が目白押しです。また、西脇グルメとして開発を進めている「黒田庄和牛を使った西脇ローストビーフ」の紹介も行っています。

なお、西脇市農業祭実行委員会では農産物品評会「野菜の部」への出品を募集しております。大切に育て上げられたご自慢の野菜をぜひ、出品してください。

市長からの手紙

西脇を元気に!!

21



西脇市長 片山象二

Mirai〜みらいえオープン

4つの機能を持つ茜が丘複合施設「Mirai.e.みらいえ」が10月18日にオープンします。

図書館は「にぎわいのある図書館」がテーマです。蔵書を約1.5倍に増やし、県下初導入の読んだ本の履歴を記録する「読書通帳」、集中できる読書空間「サイレントスペース」や学習室も設けています。こどもプラザには、屋内外に年齢に応じた遊具を設置し、何でも相談できる「子育てコンシェルジュ」を配置します。男女共同参画センター

限定500セット! 横尾さんデザイン
西脇市産山田錦使用の日本酒販売

豊盞・醸し人九平次(720ml)をセットで6,000円(税込)

10/1~農林振興課で受付(1人10セットまで、先着順)。様式は市ホームページから取得し(希望者には郵送)、FAXで送信(☎22-6987)または郵送してください。

1では図書館やこどもプラザと連携してさまざまなプログラムを実施します。コミセンには会議室や調理室、音楽室などを整備しています。県下でも珍しいこの複合施設の利点を生かして、あらゆる世代の方々が気軽に集まることのできる場所となるよう運営にもぜひご参加ください。

名誉市民の横尾忠則さんが「文化芸術分野のノーベル賞」とも言われる「世界文化賞」を受賞されました。横尾さんには市制10周年に合わせ、西脇市商業連合会発行「にしわきY字路お買い物券」や西脇市産山田錦を使った日本酒ラベルのデザインにご協力をいただきました。また、岡之山美術館で10月25日から「山田洋次×横尾忠則」展も予定されていますのでお楽しみに。市町合併から10年がたちました。次の20年、30年に向けて西脇市がさらに発展できるように、皆さんの力を結集しましょう。

西脇市消費生活センター

☎22-3111(防災安全課内)

No.121
クリーニングトラブルにご注意!

【事例1】1年前にクリーニングしたスーツを、ビニールカバーをかけた状態で保管。開封すると変色していた。

【事例2】紛失した。穴があいた。縮んだ。色移りした。 など

トラブルの原因がクリーニング業者にある場合は、一般的には「クリーニング事故賠償基準」をもとに補償されます。賠償額は(物品の再取得価格)×(経過月数に対応して定められた補償割合)になります。賠償期間は消費者が衣類を受け取ってから6ヵ月間、クリーニング店が品物を受け取ってから1年間です。また、商品受取時の袋のまま保管すると、袋に配合されている酸化防止剤と空気中の酸化窒素ガスの影響を受けて変色します。

一時置きを含め、衣料品を保管する際は、(紫外線による変退色を避けるため)光が当たらないように、布カバーをかけたりクローゼットやタンスに収納したりしましょう。商品は早めに引き取り、仕上がりに問題がないか点検し、伝票やタグは、クリーニングに出した証拠として保管しておきましょう。